

## 鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会評価報告書

(米子コンベンションセンター)

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立米子コンベンションセンターの管理運営状況を評価した。

### 1 対象施設

鳥取県立米子コンベンションセンター

### 2 指定管理者

公益財団法人とっとりコンベンションビューロー（米子市末広町294）

### 3 指定管理期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日

### 4 委員会

#### (1) 開催日・場所

第1回委員会：令和4年9月9日（金）午後1時30分から3時

（米子コンベンションセンター）

第2回委員会：令和4年10月26日（水）午前11時から12時30分

（米子コンベンションセンター）

#### (2) 委員

氏名	所属等
大久保 計良（委員長）	西日本税理士法人（税理士）
白枝 伸（副委員長）	ばていなでざいん建築事務所主宰 （米子工業高等専門学校建築学科非常勤講師）
小林 慎一	公募委員（会社経営者）
目次 裕子	鳥取県洋舞連盟会長
石田 晃	米子市経済部観光課長
村上 真弓	鳥取県地域づくり推進部文化振興監兼文化政策課長

#### (3) 評価方法

令和元年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、6人の委員の審議により各審査項目の評価点を決定した。総括点は、各評価項目の評価点数より平均値を算出し、委員の審議により決定した。

審査項目	主な審査内容
管理運営の状況	・開館時間、休館日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・法令等の遵守 ・利用者意見の把握・対応
維持管理の状況	・施設設備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ・事故の防止策、緊急時の対応
事業等の状況	・利用促進のための事業実施内容 ・施設の設置目的達成のための事業実施内容

利用状況、収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用状況</li> <li>・利用料金の徴収、減免の状況</li> <li>・管理運営にかかる収支状況</li> </ul>
------------	---

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(4) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による管理運営状況の評価は「1」と決定した。

審査項目	評価点数
管理運営の状況	1
維持管理の状況	1
事業等の実施状況	1
利用状況、収支の状況	1
総 括	1

イ 運営評価委員からの主な意見

①管理運営の状況について

<5段階評価の調整点>	1点
<評価の理由・意見等>	
<p>○学会等のオンライン開催やハイブリッド開催の増加に合わせた環境整備やサービスの提供に取り組んでいる。</p> <p>○エントランスロビーにOA機器を有料で貸し出しするビジネスコーナーを設置したり、利用者のみが占有できるインターネット回線「専有接続」サービス（有料）や看板作成、ごみ回収といった各種サービスプランを設けたりして、ビジネス支援や円滑な催事の実施を図っている。一方で、特定の利用者（ビジネス関係、一定規模の催事等）向けのものが多く偏りが見られることから、県民向けのきめ細かいサービスも考えていく必要がある。</p> <p>○ホールの割引プランや練習プランなどの料金設定のほか、開館時間への柔軟な対応など、利用者の利便性向上を図っている。</p>	

②維持管理の状況について

<5段階評価の調整点>	1点
<評価の理由・意見等>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難訓練ではアクションカードを導入した実践形式に近い形で実施するなど、事故、災害が発生した場合の危機管理体制の強化に取り組んでいる。</li> <li>○常に清潔感のある管理がなされており、また、警備員による敷地内外の巡回実施により周辺環境の安全管理が強化されている。</li> <li>○施設内の動線を分かりやすくするため、ユニバーサルデザインで統一された誘導サインを整備している。</li> <li>○赤外線カメラ、非接触型体温計、CO2濃度計、アクリルパーテーションの無料貸出など、コロナ感染対策に取り組んでいる。</li> </ul>
---

③事業等の実施状況について

<b>&lt; 5段階評価の調整点 &gt;</b>	<b>1点</b>
<b>&lt; 評価の理由・意見等 &gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍においても感染症対策を行いながら適切に実施された賑わい創出事業は過去最高の来場者となり、賑わいづくりに一定の成果があった。</li> <li>○県内外の企業や団体への訪問による営業活動の実施（コロナ禍においてはリモートによる営業活動）や、他館での開催情報等の調査をふまえた利用案内など、利用促進に向けた効果的な取組を行っている。</li> <li>○他の文化団体へ職員を派遣し、舞台技術のほか自主事業・催事対応について学んだり、実務に応じた各種研修会に参加するなど、職員の専門技能・資質向上に努めている。</li> <li>○利用促進に向け従来型の企画事業だけでなく、新たな角度からのアプローチで設置目的に即した事業に一層取り組んでほしい。</li> </ul>	

④利用状況、収支の状況について

<b>&lt; 5段階評価の調整点 &gt;</b>	<b>1点</b>
<b>&lt; 評価の理由・意見等 &gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○今期（コロナ及び工事による休館の影響が及ばない令和元年度）のひと月あたりの利用料収入は、ほぼ前期並みの収入額を確保しており、またコロナ禍においても経費の節減対策に取り組みながら、各年とも安定的な収支状況を達成している。</li> </ul>	